

2019 リレー万葉講演会 in 石見

〔江津・美郷町会場〕

テーマ「令和」と「万葉集」と「石見」

今度、始めて年号が日本の古典「万葉集」からとられました。

日本最古の和歌集で、天皇から兵隊、農民までの幅広い歌を4516首集めています。日本人の心を、万葉仮名を使って表わし、国民としての精神的統一が図られました。
万葉ゆかりの地、江津市と美郷町での講演会です。

江津会場

令和2年

1/12(日)

〈入場無料〉

◎時間／13:00～16:30

◎会場／江津市地場産業センター

江津市嘉久志町1405番地 電話(0855)52-0600

特別講演

13:00～

京都大学名誉教授

内田賢徳先生の楽しい講演〈I〉

「妹が門見む」という表現の成立

「妹が門見む、靡けこの山」という強い希求は、万葉集の中で孤立しているわけではありません。この表現が生まれるまでの和歌の歴史をたどります。



〔柿本人麻呂像〕
万葉公園内



地域講演

14:30～

1.「江津の万葉のすばらしさを語る」—江津市内各地区の活動—

(1)麻呂の会 (2)角の会 (3)万葉ロマンの会 (4)「石見相聞歌」の朗唱

2.「小学生(5年)・中学生(2年)の短歌教室と万葉のふるさと江津」

山陰万葉を歩く会 会長 川島 芙美子

〔主催〕山陰万葉を歩く会 〔後援〕江津市、江津市教育委員会、江津市観光協会 〔共催〕リレー万葉講演会江津実行委員会

大崎鼻から見た
「石見相聞歌」の舞台

美郷町会場

令和2年

1/13(祝・月)

〈入場無料〉

◎時間／13:00～15:50

◎会場／斎藤茂吉鴨山記念館 邑智郡美郷町湯抱 電話(0855)75-1070.

特別講演

13:00～

京都大学名誉教授

内田賢徳先生の楽しい講演〈II〉

「柿本人麻呂の人柄をさぐる」

人麻呂については、歌以外の記録が全くありません。しかし、彼の歌は能弁に、どういう人柄であったかを語り出しています。それをたどってみます。

〔人麻呂公御神像〕
南北朝：頼阿(とんあ)上人作
斎藤茂吉鴨山記念館蔵



地域講演

14:30～

美郷町の「人麻呂公御神像」—中世に広まった人麻呂信仰—

山陰万葉を歩く会 会長 川島 芙美子

〔主催〕山陰万葉を歩く会 〔後援〕美郷町、美郷町教育委員会、美郷町観光協会 〔共催〕リレー万葉講演会美郷町実行委員会

※内容が一部変更となる場合があります。

*地域講演の詳細、アクセスは裏面をご覧ください。

お問合せ

益田市観光交流課 TEL.(0856) 23-4655
〒698-0024 益田市駅前町17-1 益田駅前ビルEAGA3階